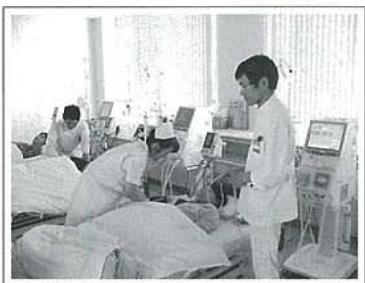


患者のみなさんと病院をつなぐ

かけはし



腎センター



外来問診



食事指導



ナースステーション

病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



あ
い
し
わ
せ
や
さ
し
さ
中
央
病
院

乳がん検診を受けましょう

放射線科 技師 黒山 葉子



乳がんは年々増え続けています

当院の乳がん検診が始まってから5年目に入りました。平成20年度までに、年間、約280名の方が受診されました。テレビや新聞で何度も取り上げられていますが、女性の一生を通じて見た場合、23人に1人が乳がんになるといわれ、年々増え続けています。しかし、平成18年度の受診率を見てみると全国平均で12.9パーセント、福岡県では12.0パーセント、芦屋町では6.3パーセント(平成20年度)と、アメリカの70パーセントと比べると非常に低く、まだまだ受診される方が少ない状況です。

40歳以上の方は マンモグラフィ(乳房X線)撮影を行います

乳がん検診では問診、視触診、マンモグラフィ撮影の順に検査を行います。30歳代は、問診と視触診のみです。マンモグラフィは、40歳代で2方向撮影、50歳以上は1方向撮影となっています。40歳代は、まだ乳腺が多く白っぽく写る方が多いようです。そのため腫瘍など白い陰影があっても判別し難いので、角度を変え、2方向から撮影を行っています。また、マンモグラフィ撮影時、乳房を圧迫するので痛みを感じられる方もいますが、病変などが見つかりやすくなるという効果がありますので、圧迫は重要です。そのためできるだけ短時間で済むように努力しています。



被ばく線量は微量です

X線の被ばく線量は微量で、1回の撮影の被ばく線量と東京からニューヨークまで飛行機で行くときに浴びる自然放射線量とほぼ同じです。それよりも検診による乳がん発見のメリットのほうがはるかに大きくなります。検診の結果、要精密となった場合は再度、追加のマンモグラフィ撮影や超

音波検査を受けていただきます。さらに必要に応じて細胞診やCT、MRI検査などがあります。

要精密検査の結果を受け取られてもすべて悪性というわけではありません。乳腺症や繊維腺腫、乳腺炎など良性のものが多くありますので、むやみに不安になる必要はありません。しかし、がんと区別が難しいものもありますので、早めに精密検査を受けてください。

自己検診も大切です。乳がん検診は2年に1度ですが、異常に気づいたら検診日まで待たずに、外科で外来診察を受けてください。

精度管理委員会が認定した 読影医師と女性撮影技師が対応します

当院では、マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の認定を受けた専門の読影医師と放射線科の女性撮影技師が常勤しています。安心して受診できますので、ご利用ください。

特定健診や乳がん検診を実施しています

特定健診

特定健診は、保険者(各市町村や会社の保険組合等)に義務付けられたもので、平成20年度から始まっています。受診者の自己負担額は保険者によって若干異なります。この機会に生活習慣病の予防に取り組まれたらいかがでしょうか。受診を希望される方は、保険者から送付してきた受診券があれば受診できますので、当院の受付窓口(医事係)で気軽にお尋ねください。

乳がん検診

乳がん検診は、市町村などによる住民健診で受診することができます。各自治体によって、年齢や個人負担額、実施時期などが異なりますが、少しでも気になることがありましたら、当院の外科、または総合案内にご相談ください。

検診及び人間ドック

当院では、この他に「人間ドック」「入学・入社時の健康診断」「会社・事業所等の定期健康診断」なども行っています。詳しくは受付窓口(医事係)でお尋ねください。

病院からのお知らせ

= 新任医師の紹介 =



内科 医師
藤本 陽子

4月より赴任いたしました藤本陽子です。腎疾患を専門としております。現在、透析患者数は増加の一途をたどっており、その予備軍としての慢性腎臓病は大変頻度の高い疾患です。高血圧や尿異常などでご心配の方は、一度、腎臓外来へご相談ください。どうぞよろしくお願ひいたします。



内科・消化器科 医師
高橋 晴彦

はじめまして。4月から町立芦屋中央病院に赴任しました高橋晴彦です。芦屋は食事がおいしく、海もきれいで住みやすい町であると実感しています。また、患者さんや病院のスタッフが温かく迎えてくれて非常にありがたく感じております。今後とも地域の医療に少しでも貢献できるようがんばっていこうと思っています。まだまだ慣れない点もございますが、今後ともよろしくお願ひいたします。



内科・消化器科 医師
山崎 一朋

こんにちは。町立芦屋中央病院の内科に赴任しました山崎一朋です。まだ赴任してきて日は浅いのですが、ようやく芦屋の生活にも慣れてきました。一人でも多くの患者さんと接することができるよう日々診療を行っています。病院で見かけましたら気軽に声をかけてください。芦屋の力になるようにがんばります。

関節リウマチなどでお悩みの方はご相談ください

4月から毎週、金曜日の午前に膠原病(こうげんびょう)外来を行っています。担当医は産業医科大学から来ていただいている辻村静代先生です。「膠原病って、どのような疾患?」とよく質問されますが、免疫力・抵抗力に異常をきたし、全身のあらゆる臓器に慢性的な炎症を引き起こす疾患群の総称です。自分自身の臓器を構成する細胞やたんぱく質に異常な免疫反応が起こることから「自己免疫疾患」とも呼ばれています。代表的な疾患が関節リウマチです。関節リウマチは、おもに関節の内側にある滑膜に腫れや痛み、こわばりなどの炎症を起こし、それが続くと関節の変形をきたす病気です。激しい痛みやこわばり

は、本人にとって非常につらく深刻な問題です。また、他の自己免疫疾患など、さまざまな合併症を引き起こすことがあります。こうしたことから痛みなどの症状を和らげるだけではなく、関節の破壊を食い止め、また、他の合併症があればきちんと治療することがとても大切です。適切な治療を受けることで痛みを最小限に抑え、毎日の生活を快適にすることができます。現在と将来の生活の質を保っていくためにも関節リウマチの専門医に受診し、症状に応じた治療を受けましょう。

眼科外来の診療曜日が変わります

眼科医師の退職に伴い、7月から水曜日、金曜日、土曜日の午前中のみの診療となります。当院としましては、患者のみなさんの強い要望もあり、常勤医師の採用に向け努力しましたが、残念ながら叶いませんでした。しかし、産業医科大学の全面的な協力があり、週に3回の診療を行うことができるようになりました。特に金曜日は教授である田原昭彦先生に診察をお願いしています。患者のみなさんにはご不便をおかけしますが、よろしくお願いします。



「第89回日本消化器内視鏡学会九州支部例会」の例会長に…

当院の櫻井俊弘院長が来年度開催される「第89回日本消化器内視鏡学会九州支部例会」の例会長を務めることになりました。この例会は、九州全域から約1,000人の医師が参加する学会です。

町立芦屋中央病院外来診療担当表

平成21年7月1日現在

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
消化器科	午前	櫻井	青見	大原	高橋	櫻井	消化器科、内科医師で交替(午前のみ)
	午後		櫻井		青見		
内科	午前	呼吸器科 西尾	呼吸器科 西尾		呼吸器科 西尾	呼吸器科 西尾	消化器科、内科医師で交替(午前のみ)
		加来	加来	加来	山崎	加来	
		循環器科 大江	循環器科 木谷		循環器科 村岡		
		糖尿病 森		糖尿病 森田		膠原病 辻村	糖尿病 岡田
	午後	是此田	高橋	循環器科 木谷 神経内科 西尾	加来	是此田	
小児科	午前	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上	井上 第2・4は休診
	午後	井上 女性専用	井上				
整形外科	9:00~	野々村	内藤	内藤 野々村	野々村	内藤	2人で交替
	10:30~	内藤				野々村	
	午後		内藤		野々村		
外科	午前	井下	永渕	2人で交替	井下	永渕	2人で交替
	午後	永渕	2人で交替		井下		
眼科	午前			産医大派遣医師		産医大派遣医師	産医大派遣医師
	午後						
耳鼻咽喉科	午前	工藤	工藤		工藤	工藤	
	午後	工藤	工藤		工藤	工藤	
腎外來	午前	藤本	藤本	藤本	新患のみ 藤本		新患のみ 藤本
CT・超音波	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂

受付時間

午前 [月曜日～金曜日] 11:00まで [土曜日] 10:00まで

午後 13:00～16:00

●院内エチケット●

※咳や熱のある方は、受診される際、マスクの着用をお願いします。また、入院されている方への面会は、ご遠慮ください。

※携帯電話は、電源を切るかマナーモードに切り替え、周囲の方に迷惑がかからないようにしましょう。



JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋」行きにて「芦屋中央病院前」下車。徒歩1分
JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋町役場前」下車。徒歩8分

町立芦屋中央病院

〒807-0101 福岡県遠賀郡芦屋町幸町8番30号

TEL 093-222-2931(代)

FAX 093-222-2176

e-mail [hospi@hospi-ashiya-fukuoka.jp](mailto:hospit@hospi-ashiya-fukuoka.jp)

URL : <http://www.ashiya-central-hospital.jp>